

担当教員授業題目	野外調査実習 III (信州大学)			担当教員	國頭 恭
英文授業名	Field Practical Training in Environmental Science III			副担当教員	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	対象学年
授業形態	実習	備考			
<p>(1)授業のねらい 試料採取や現地観察などの野外調査を行い、さらにその試料の分析を実験室で行うことで、実験技術や調査手法を習得するとともに、生態系の成り立ちと相互作用などについて知見を深め探求する能力を育てる。</p> <p>(2)授業の概要 主に土壌の現地観察と試料採取を行い、その土壌試料の特性を実験室で分析する。分析法、測定機器の使用法、データ解析法などを習得すると同時に、主体的に資料・文献調査も行い、結果を考察しまとめる能力を培う。</p> <p>(3)授業計画 ・ガイダンス 実習の進め方、日程および調査目標などについて電子メールで通知し、学習資料の送付・自習によって調査の準備を進める（受講者が確定した後5～6月に実施）。</p> <p>・野外実習 9月初旬の天候の良い時期に実施する。初日に野外調査を行い、2日目・</p>				<p>3日目に実験室で分析をする。</p> <p>・レポート提出 9月末までに、データを解析し考察したレポートを提出。</p> <p>(4)成績評価の方法 レポートの内容および実習への取り組み態度等により総合的に評価する。</p> <p>(5)履修上の注意 松本駅までの旅費や宿泊代は参加者の負担です。</p> <p>(6)質問,相談への対応 電子メール (kunito@shinshu-u. ac. jp) で随時受け付けます。</p>	
<p>【教科書】受講者が確定した後に、資料を配布します。</p> <p>【参考書】受講者が確定した後に、紹介します。</p>					